

Alimentaria

2020年4月20日から23日まで
www.alimentaria.com



Alimentaria Exhibitions

非常に良好な関係を築いているスペインと日本間の飲食品の商業流通

アリメンタリア 2020 に 初めて日本パビリオンが出展

飲食品およびフードサービスの国際展示会の1つであるアリメンタリアが次回の開催準備を開始。4月20日から23日にフィラ・デ・バルセロナ（バルセロナ国際見本市会場）で開催されます。アリメンタリア 2020 はスペインの食品産業における最も重要なイベントであることに加え、大規模な国際見本市であるため、日本や他国の出展者の興味は段々と増えています。2020年、日本はJETRO（日本貿易振興機構、英語名称 Japan External Trade Organization の略）の協力のもとで、自国のパビリオンの出展者として参加します。

日本・スペイン間の食品産業および流通は非常に良好な関係を築いています。これは、過去5年間の両国間の輸出と輸入の指数関数的な成長に反映されています。この良好な関係は、JETRO（日本貿易振興機構、英語名称 Japan External Trade Organization の略）が設営する日本初のパビリオンという形となって現れており、アリメンタリア 2020 で初めて250平方メートルを超える面積を占める施設を設置します。

スペイン JETRO の業務課長の渡邊千尋氏は、「スペインでは日本食と日本酒の人氣が非常に高まってきているため、日本の多くのサプライヤーはスペイン市場に自社の製品を投入することに大きな関心を寄せています。さらに、アリメンタリアはヨーロッパ最大規模の食品産業の見本市であるため、スペイン企業だけでなく、ヨーロッパ諸国にも日本企業が参入する絶好の機会の場となっています。」と語っています。

日本からの入場者に関しては、本展示会でスペイン、そして国際的にも有数の食品展示会であり、食品産業の最新トレンドを確認することができます。このように、アリメンタリア 2018 に参加した日本からの訪問者の中には、見本市の開催組織が推進する Hosted Buyers プログラムを介して手を組んだ20社以上の購入企業があります。大榮産業、大丸松坂屋百貨店、ディバース、イベリア貿易、キリン堂、神戸物産といった企業が参加しました。

スペイン食品・飲料産業連盟（FIAB）によれば、日本は食品産業において最も魅力的で潜在的な市場の1つとされています。2018年には、上記の組織はスペインの飲食品産業にとって米国、中国、香港に次ぐ3番目の優先的市場として日本市場を挙げました。

FIAB によると、スペインの食品産業は2018年に8億4800万ユーロ相当の製品を日本に輸出し、過去10年間で12.6%の増加を記録しました。日本市場で最もニーズが高いスペイン産の製品は加工肉であり、その50%以上をイベリコ豚肉製品（4億2700万ユーロ）およびオリーブオイル（1億2500万ユーロ）が占めています。

大榮産業、ディバース、キリン堂、神戸物産といった日本企業が製品の買い付けを目的にアリメンタリア 2018 を訪れました。

日本からのニーズが最も高いスペイン産の食品は加工肉であり、とりわけイベリコ豚が人氣を博しています。

日本・EU間の自由貿易協定は、日本・スペインの企業間の貿易流通をさらに促進させる見込みです

スペイン産食品の9番目の輸入国、日本

これらのデータにより、日本はスペイン産食品の世界第9位の輸入国となり、EU加盟国以外では第3位となっています。FIABによると、その高い購買力により日本は、スペイン産の飲食品にとって非常に魅力的な輸出先です。また、日本の消費者からもスペイン産食品は高い評価を得ています。

さらに、今年の日・EU間の自由貿易協定の締結により、食品産業における日・スペイン企業間の貿易流通はより促進されることが見込まれます。

日本の財務省によれば、スペインは日本の食品産業から320万ユーロ相当の製品を購入したという試算を発表しています。スペインが輸入した主な製品は、飲料（150万ユーロ）、穀物（90万ユーロ）、コーヒー・茶類（60万ユーロ）でした。

Alimentaria ExhibitionsのJ.アントニオ・ヴァルス氏は、「特にアジア諸国の消費者に高く評価されているスペイン産の食品である肉やチーズなどは、日本進出を目指すスペイン企業にとって多大なる可能性を秘めています。同様に、日本企業にとってスペインの食品産業の見本市に参加することは、スペイン市場での自社製品の売り上げと影響範囲を広げる良い機会であり、日本の飲食品は潜在的な可能性を秘めています。」と語っています。

内容を一新したアリメンタリア

アリメンタリアは2020年4月20日から23日までフィラ・デ・バルセロナのグランビアコンベンションセンターで開催されます。これまでよりもビジネス的価値を高め、新たな価値として美食的観点を重要視し、本展示会を特徴付ける革新性をそのままに内容を一新します。2020年、アリメンタリアは4,500社以上の出展企業が参加し、そのうち70カ国から1,000社が参加、156カ国から15万人の専門家が来場したという前回の記録を超えることが予想され、さらに国際色豊かな見本市となりそうです。

ショーケースは、精肉（Intercarn）、乳製品（Interlact）、保存食品（Expoconser）、スナック・菓子類（Snacks, Biscuits & Confectionary）で構成されます。地中海料理からは、生鮮食品、オリーブ油・植物油（Mediterranean Foods）、フードサービス（Restaurama）で構成されます。そして、Grocery Foodsには主要な食品製造企業が出展します。また、アリメンタリア2020開催5カ月前の時点で80%の出展スペースが埋まったInternational Pavilionsです。これまでのデータと比較すると前例のない数字となっています。このショーケースではスペイン以外の食品が出展されます。スペイン産の食品はLands of Spainに出展されます。

アリメンタリア2020からの新しい試みとして、最新トレンドの食品（Alimentaria Trends）、高級食品（Fina Foods）、オーガニック食品（Organic Foods）、アレルギーフリー食品（Free From）、ハラール食品（Halal Foods）、機能性食品（Functional Foods）等も出展されます。

前回の展示会と同様に、アリメンタリアはHostelco（ケータリング・ホテル・店舗用設備国際展示会）と共に開催されることが決定しています。共同で開催することで、食品・外食・調理機材の産業においても最も完全かつ横断的な展示会を目指します。両展示会は、著名シェフによるワークショップ、料理教室、ショーッキングが実施されるThe Experienceのショーケースなど、付加価値を生み出すアクティビティを共同で開催します。

国際報道機関:

t + 44 207 009 2008 / m + 44 7511 388809

スリア・コロミナス=ロビラ - n.corominas@romanrm.com

アルバロ・リトラン - a.litran@romanrm.com

全国紙:

スサナ・サンタマリア / +34 93 4521104/ ssantamaria@alimentaria.com